

## 「日本鍼灸師会 中部ブロック会義 報告」

平成 25 年 9 月 22(日)午後 4 時 00 分～9 月 23 日(月)午前 11 時 20 分まで、山梨県甲府市に於いて、「日本鍼灸師会 中部ブロック会義」が開催されました。参加者は、日本鍼灸師会より 2 名、各県から 20 名が参加され、活発に意見の交換がなされました。

冒頭、会長挨拶では仲野弥和日本鍼灸師会会長が、

- ・現在、鍼灸業界は大きな転換期に入っている事。
- ・従来からの事業を継続するだけでなく、鍼灸の現状を変える新たな事業に挑戦していかなければならない事。
- ・組織を強化するためには、会員数の増加が一番必要である事。

など、鍼灸業界や日本鍼灸師会の現状について述べられました。

議題については、以下の通りでした。

議題 1. 日本鍼灸師会報告 仲野弥和 日本鍼灸師会会長

- ・日鍼会と、関連団体について。
- ・日本の人口推移について
- ・日鍼会の組織について

など、日本鍼灸師会を取り巻く状況や、組織のあり方などについて報告がされました。

○その後、下記の特別講演がなされました。

テーマ 「日本型統合医療の理念と鍼灸ビジョンの連携」

－医療資源に鍼灸の活用を広めよう－

講師 日本統合医療支援センター 代表理事 織田 聡

議題 2. 日本鍼灸師会への質問及び要望事項

仲野会長及び長谷川業務執行理事が、各々の質問に対し回答をしました。

- ・GKカードについて、会員が自分の特典を確認する方法について質問があり、インターネットで確認が出来る旨の説明がされましたが、GKカードの使用方法について分かり易い説明書などを出して欲しいとの要望が出されました。
- ・鍼灸ビジョンについて、具体的な第一歩として何をするのか、或いは何をしているのかを説明して欲しい、との要望が出されました。
- ・日本医師会が出している「医師職業倫理指針」を参考にして、「鍼灸師職業倫理指針」の作成を検討して欲しいとの要望が出されました。

議題 3.各県師会の活動報告について

- ・岐阜県から、朝日大学歯学部解剖学教室にて、解剖実習及び解剖見学を実施したこと、及び岐阜県における介護予防運動教室の取り組みについて報告がされました。

- ・長野県からは、フィジカルアセスメントとして、西洋医学的、触診、聴診、視診、血圧の基礎などの研修会を始めたこと、また、東京オリンピックに向けて、長野オリンピックの経験を活かし、鍼灸スポーツトレーナーの育成を考えていることなどが報告されました。
- ・愛知県からは、会報を廃止し、必要な情報はすべてメールで配信していること、保険用紙の印刷ソフトを作成し、用紙の販売を殆どしていないことなどが報告されました。
- ・山梨県からは、元会長の土橋和明先生が褒章を受けられるとの報告がありました。
- ・愛知県及び山梨県から、保険に関して、患者に対し「治療状況確認書」や「受診内容回答書」等が届いている事が報告されました。「治療状況確認書」は協会けんぽから、「受診内容回答書」は保険組合から依頼された業者が行っていることも報告されました。この件については、次回の厚生労働省との会議の中で協議しますとの回答がありました。

○次年度中部ブロック会議については、開催県は長野県、日程は、平成26年9月20日（土）・21日（日）の予定との報告がされました。

以上を持って、会議を終了しました。



